

# 国公立大学の 初年度納付金の目安

設置区分	初年度納付金			
		うち授業料	うち入学金	
国立大学	817,800円	535,800円	282,000円	*1
公立大学	928,493円	536,382円	392,111円	*2
公立短期大学	608,243円	387,729円	220,514円	*3

※これ以外にも設備費などが必要になる場合があります。

\*1 文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」による標準額。

\*2 文部科学省「2020年度学生納付金調査結果」の大学昼間部の平均値。  
入学金は地域外入学者の平均額。地域内入学者の平均額は228,404円。

\*3 文部科学省「公立短期大学授業料等について」令和元年の昼間部の平均額。

## 国立大学について

国立大学は、平成16年度から法人化したことにより、文部科学省が省令で「標準額」を定めています。標準額の2割を超えない範囲での値上げが認められていることから、一部の大学では標準額を上回る授業料を設定しています。

例：千葉大学

年間授業料 642,960円(令和3年4月以降の入学者)

## 公立大学について

公立大学は、大学が所在する地域内の出身者か、そうでないかで入学金が変わるケースがほとんどです。県内・市内など、地域内の定義は大学によって異なります。授業料は国立大学の標準額と同じ大学が多いですが、大学によって異なります。また、公立短期大学も4年制大学と同様に地域内・地域外で入学金が変わるケースがほとんどです。

例：東京都立大学

入学金 282,000円(東京都の住民は141,000円)

※「東京都の住民」の定義は大学HPをご確認ください。

※納付金の詳細は、大学パンフなどの学校公式発信の資料でご確認ください。

※国公立大学および短期大学について個別の集計は行っていません。ご了承ください。

